

# 神奈川県自然公園だより

(財)神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市尾上町5-80 tel:045-633-5211 fax:045-633-5214 http://www.kanagawa-park.or.jp/)

## 丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉 515 0465-78-3888】

「合同山岳パトロールを実施しました！」1月7日～8日に松田署山岳救助隊と丹沢湖ビジターセンター合同の山岳パトロールを実施しました。



蛭ヶ岳山頂

1日目は西丹沢自然教室～ツツジ新道～檜洞丸、2日目は檜洞丸～白ヶ岳～蛭ヶ岳～棚沢ノ頭～弁当沢ノ頭～熊木沢出合です。2日間快晴に恵まれましたが、1日目はものすごい風で途中何度か木道から落ちそうになったり、立ち止まれば木につかまったりしながら山頂へ向かいました。展望台を少し過ぎたところから登山道がところどころ

凍結していたため、軽アイゼンを装着。「まだまだ平気」なんてしていると足を滑らせ大事故になりかねません。

今回は山岳救助隊の隊長さんから丹沢で起こった様々な遭難や滑落などの山岳事故のお話を聞かせていただきました。山岳事故について今まで以上に考えさせられました。なかでも隊長さんが「単独登山は怖いからしたくない」と話していたのが印象的でした。それは山を熟知しているからこそ出てくる言葉だと思います。「自分は大丈夫」と過信せず、単独登山を避け、登山計画書を必ず出しましょう。登山計画書はあなたの命を守ります。ビジターセンターでは登山計画書を用意しておりますので、是非お立ち寄りください。(村上)



蛭ヶ岳

## 秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下 1513 0463-87-9300】



左の写真で、落ち葉の中でひときわ目立つ赤いものはいったい何だと思いますか？ 実はしぼんだ風船です。どこかの街で、ふとした拍子に誰かの手をはなれて、丹沢の山の中まで、飛んできたのです。この風船の旅は、街と丹沢が空という空間でつながっていることを改めて感じさせてくれます。

でも、いろいろな夢を与えてくれる風船も、森の中では“異物”になってしまいます。もし、生き物が誤って食べてしまったら・・・消化されない“異物”はその生き物の命を奪うこともあるのです。

関東の都市部の排気ガスは、丹沢のブナの立ち枯れの原因の1つとして考えられています。このことは、日常の暮らしのなかで作り出される物、廃棄するものが、空気や水の大きな流れに運ばれ、はなれた自然環境に負荷をあたえていること(残念ながら) 典型ともいえるのでは・・・。

想像力を駆使して、丹沢を思いながら、普段の生活を少し見直してみませんか？！(鈴木)

## 陣馬自然公園センター 【藤野町佐野川 659-3 0426-87-5270】



陣馬山山頂から見た日没

1月、センターの温度計は氷点下を指す日は少なく、5日にうっすら降った雪もすぐ解けてしまいました。例年ならば、陣馬山頂の積雪は10cm以上もあり、登山道は凍りつき、軽アイゼンが必要となりますが、今年の登山道は暖冬の影響で、霜解けの泥がべったり靴にまとわりつき、転倒注意の箇所があります。

生藤山では寒桜が咲き、冬枯れの山に色を添えています。センター周辺では春の知らせと冬の終わりを伝えてくれるフキの薹が顔を出しました。耳を澄ませると、桜の枝で鳴いているカワラヒワや、カソコソと落ち葉の中を何やらエサ探している様子のホオジロがいます。センター前の沢井川沿いに目をやると、風を切って気持ちよさそうに飛んでいるアオサギがいました。

また、センター脇の土手には猪の掘り起こした深い穴から、木々の根が飛び出しています。センター前の畑では、山から現れたサルの集団が野菜を食べ荒らし、その様子を見て登山者・観光客もビックリしていました。陣馬周辺でも、野生動物と人里との境界が薄れてきたようです。(荒井)

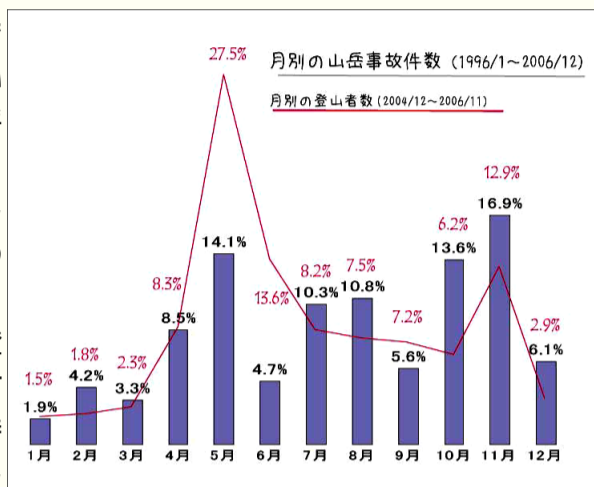
## 西丹沢自然教室 【山北町中川 867-2-9 0465-78-3940】

『昨年の西丹沢の山岳事故』 西丹沢の山岳救助活動をしている県警松田署が平成18年の山岳事故の情報をまとめました。それによると、遭難件数は16件ありましたが、幸いにも死亡事故はありませんでした。遭難原因として道迷いが9件で過半数を占め、山域としては檜洞丸周辺(犬越路を含む)に6件も発生しました。

昨年の西丹沢での代表的な山岳事故として、1月の大杉山での道迷い遭難があげられます。ヤブ山歩きで準備と装備が不足して起きたものです。西丹沢では死亡事故が毎年のように起きているので、これからも安全登山を呼びかけていきます。

現在、右にあるグラフをはじめ、事故原因や事故発生場所等の展示を行っています。

2月は、標高1000m以上の登山道に残雪が凍ってスリップしやすくなっています。アイゼンを持ち、余裕を持った計画で登山をしてください。(倉持)



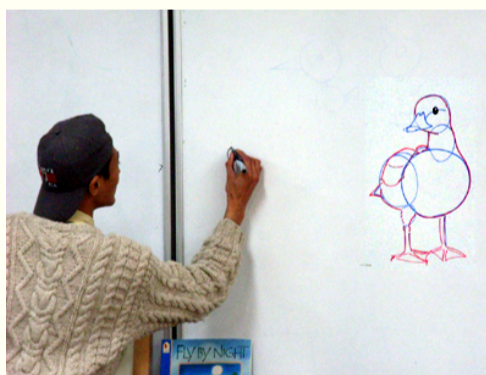
## 宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬 940-15 046-288-1373】

ウソという鳥を知っていますか？ スズメくらいの大きさで、頭のとっぺんと翼や尾羽が黒く、背中が灰色。オスの喉が赤いのがトレードマーク。太短くちばしで、草木の種などを食べます。そんなウソが今冬、よく見られます。可愛らしい姿はバードウォッチャーに大人気です。しかし、このウソ、害鳥として扱われることもあるのです。何故でしょう？ それは、サクラやウメの花芽がふくらむ頃になると人里にやって来て、その芽を食べてしまうからです。サクランボや梅を作っている農家にとっては困りものです。私たち日本人が好きなお花見も楽しめません。宮ヶ瀬周辺のサクラの木でも花芽をついばんでいる姿がよく観察されています。さて、今年のサクラの開花はどうなることでしょうか？ 皆さんも予想してみてください。



ウソ

自然教室「楽しくデッサン～鳥を描いてみよう！～」を1月21日(日)に開催！講師



の神戸宇孝さんにデッサンの基礎を分かりやすく教えていただきました。参加者の皆さんが一番感激したのは、鳥の形をの組み合わせで捉えること、と教えて頂いたことでした。鳥を描くには、鳥をじっくり観察することも大切です。野鳥観察をするには、宮ヶ瀬は最適な場所です。さあ、鉛筆とノートを携えて、あなたも宮ヶ瀬にいらしゃいませんか？(長澤)

## 山岳スポーツセンター 【秦野市戸川 1392 0463-87-9025】

今年は開館10周年を迎えます。節目の年にふさわしい記念行事を関連団体と計画しています。乞うご期待を！！

昨年より暖かい日が多いので三ノ塔へ登山する方が多く見られ、下山後にシャワーで汗を流して帰っていきます。現在、5回シリーズの冬山登山教室が開催中ですが、3回目は富士山五合目で雪上訓練、4回目は谷川岳で雪洞を掘って冬山の生活実習などが予定されています。来年度も実施する方向で考えています。ぜひご参加ください。

近くの畑では、早植えの菜の花が11月頃から咲き始め満開となっています。梅の花もちほら咲き始めましたが、休日にはこの菜の花目当ての人が沢山訪れています。晴れた日に菜の花畑から見る三ノ塔、二ノ塔の景色が素晴らしい眺めです。

(小清水)



三ノ塔 二ノ塔